

0030 | コンピュータリテラシーI

1 単位（面接授業 1 単位）

清水恒平准教授、小西俊也講師、森山漸講師

授業の概要と目標

コンピュータの使用が日常化し、通信教育の学習を進める上でもコンピュータやインターネットの利用が不可欠になりつつある。しかし、ただソフトウェアを使用しているだけでは、なかなかコンピュータの基本と知識についての正しい理解が難しいという側面もあるだろう。

この科目は、通信教育課程でコンピュータを利用していくことを念頭に置いた、コンピュータやインターネットの必要最低限の知識を学習する、導入的授業と位置づけられる。

面接授業ではコンピュータやインターネットの基本的な知識の講義と併せ、コンピュータでの作業の総合的トレーニングとして Web ページの制作を行う。その作業を通じ、コンピュータの基本的な知識の理解や一連の作業を体験することを目的とする。

課題の概要

○面接授業課題

テキストエディタを使用し、HTML を記述することで Web ページを作成する。

* 課題については学習指導書『コンピュータリテラシー I・II・III 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[面接授業]

教科書『新版 電腦の教室』を適宜参照しながら、講義と実習を織りまぜて授業を行う。

第 1 日 全日：コンピュータ(ハードウェアとソフトウェア)の仕組み、インターネットの仕組みの解説。

通信教育課程の Web サイト (<http://cc.musabi.ac.jp/>) の紹介

インターネットのセキュリティやマナー、Web ページ作成方法の解説 (HTML の書き方、

文字、色、画像についての説明を含む)、および Web ページの作成

第 2 日 午前：Web ページの作成(続き) 提出・講評

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わないが、入学初年度など、早い年次での履修が望ましい。

特に日常あまりコンピュータに触れる機会がなく、「コンピュータ基礎 I」や「情報システム基礎 I・II」の履修を考える学生は、これらの科目以前に履修することが望ましい。

スクーリングで使用するコンピュータは Windows と Macintosh を予定している。

導入的授業なのでコンピュータ操作が不馴れな学生へのサポートは適宜行うが、基本的な用語や操作は理解しておけば授業内容の理解が容易である。マウスやキーボードの操作に不安のある学生は、入門者向けの書籍を参考に操作の練習を行うなどし、学習指導書に掲載されている用語や操作の意味を理解した上で授業に臨むこと。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：佐藤淳一『新版 電腦の教室—コンピュータリテラシー』(武蔵野美術大学出版局 2011 年)

学習指導書：『コンピュータリテラシー I・II・III 平成 29 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年)